会議結果報告書

以下のとおり会議を開催しましたので、その結果を報告いたします。

件　　名		令和５年度 南島原市まち・ひと・しごと創生検討会議（第１回）
日　　時		令和５年７月２６日（水）午後１時３０分から午後３時５０分まで
場　　所		西有家庁舎３階大会議室
出席者	委　員	１２名
	市・事務局	財政課長、財政課担当、DX 推進班担当
欠席委員		３名
会議次第		１　開　会 ２　市長挨拶 ３　委嘱状交付 ４　会長挨拶 ５　概要説明（組織、会議等） ６　議　事 （１）南島原市総合計画について －　総合計画･総合戦略の一体化と総合戦略の概要（資料１） （２）南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策及び 地方創生交付金事業の効果検証について －　交付金事業の取組実績と今後の方針（資料２、３） －　評価指標等の実績（資料４） （３）デジタル技術を活用した取組について（資料５） ７　閉　会
会議資料		資料１　南島原市デジタル田園都市国家構想総合戦略の概要 資料２　地方創生交付金事業実施調書 資料３　地方創生交付金事業実績一覧 資料４　総合戦略評価指標（目標）一覧 資料５　南島原市におけるデジタル技術を活用した取組
協議結果等		次頁以降記載のとおり

議事（１）南島原市総合計画について －　総合計画・総合戦略の一体化と総合戦略の概要	
●国の動向や市の現状等を踏まえ、従来の総合戦略を改訂し、昨年度「南島原市デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定したため、その概要について資料１を用いて説明した。 資料１　計画策定の趣旨、計画の位置付け、将来人口目標、骨子、指標一覧をまとめた。 ●意見や質問等があれば発言するよう各委員に求めた。	
発言者	発言内容
発言なし	

議事（２）南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策及び地方創生交付金事業の効果検証について ー 交付金事業の取組実績と今後の方針（交付金事業の効果検証）	
●令和４年度の地方創生交付金事業の効果検証にあたり、事業の内容や成果等について各委員に意見聴取するため、資料２の内容を説明した。 また、地方創生道整備交付金事業について、令和６年度と令和８年度（中間年度及び最終年度の翌年度）に効果検証の実施が必要なため、資料３を用いて説明した。 資料１　令和４年度地方創生推進交付金を活用した８事業について、事業内容や取組実績、今後の方針等をまとめた。 資料２　令和２年度（前総合戦略の開始年度）から地方創生関係交付金を活用した事業（事業費、交付額）を一覧としてまとめた。 ●資料や説明を踏まえ、各委員から意見聴取をした。	
発言者	発言内容
委員	資料１の県外からの移住者数について、４８名と記載があるが、このうち生産年齢人口は何名か。
事務局	生産年齢人口及び県外からの移住者では事務局で把握できていないが、県内外の移住者数１０５名のうち、２０代から５０代の移住者数は７４名となっている。
委員	自転車歩行者専用道路整備の事業費について、４５億円に膨らんでいるが、今後増える見通しはあるか。また、完成予定年度はいつか。
会長	事業費について、現時点では４５億円で整備できると思っている。 また、今のところ、令和６年度に完成予定である。
委員	サイクリストから聞いたが、自転車歩行者専用道路が一部供用開始されているが、町中にサインがないので、どこを通っていいかわからず、結果国道を通っていると言われていたので、南島原市に入るところ等にサインの設置が必要だと思う。

委員	ミナコイン事業について、市によるキャンペーン支出額はいくらか。
事務局	ここでは把握できていないので、担当者に確認する。 ＜後ほど回答＞ 市からキャンペーンポイントの負担金として、令和４年度は約７，５００万円支出しているが、国の臨時交付金等を活用しているため、一般財源による支出は約１，７００万円となっている。
委員	トレーニングファーム事業について、第１期研修生にヒアリングしたところ、研修時の年間給付が百数十万円しかないため、貯金を切り崩して生活をしていると言われていた。 そのため、副業を認めてあげたらどうかと思う。また、新規就農時にもお金が必要であるため、就農支援や事業継承を含めた施策検討が必要ではないか。
会長	研修生から担当課が話を聞いていると思うが、今後について新たな支援策の検討が必要だと思う。担当者にいただいた意見をお伝えする。
委員	県外からの移住者４８名は、移住後にどういった産業に従事されているか。 把握できれば、南島原市でどういった産業にニーズがあるのかがわかり、マッチングも可能になると思うので、現状を把握した方がよいと思う。
事務局	移住後の仕事については、把握できていない。
委員	資料２の２番目について、レモンケーキの生産量拡大のために支援し、１名を雇用したとのことだが、補助金が終了した後に、残れるような仕組みや見通しは立っているのか。
事務局	補助金申請時に、計画書を提出してもらうことになっているので、計画時点では残れるようなかたちになっていると思われるが、現時点の状況は把握できていない。
委員	地域資源（レモン）を活用して新規雇用につながった事業として、成功事例になると思うので、なるべく追跡して、モデルとして公表してもらえたら思う。
委員	資料２の４番目にホームページへのアクセス数の記載があるが、これは月間なのか、年間なのか。
事務局	年間である。
委員	ミナコイン事業について、交付金事業が終了するということだが、市で実施しているキャンペーンが緩やかに縮小していくということか。
事務局	そもそも推進交付金事業は、個人に対する給付は補助対象外となっているため、キャンペーンポイントは推進交付金を活用していない。 令和２～４年度については、コロナ交付金を多く活用して実施してきた。今後はコロナ交付金を見込めないが、地域経済の活性化や外貨獲得につながるので、今までの規模は難しいと思うが、一定やっていきたいと原課は考えている。

委員	ミナコインは、現在、人に見せて、人が確認して、決済するかたちになっているが、これを利用客（ユーザー）だけで、完結できる仕組みにできないか。 セキュリティの問題で難しい部分もあると思うが、今後、窓口に人をたたせることができなくなる可能性が高いと思う。 人がいないと決済できない・購入できないとなれば、売上機会の損失となるため、人がいなくても決済できる仕組み（店舗や野菜の無人販売所等で、QR コードを読み取ると自動で支払いが完了する仕込み等）を検討してほしい。そういったことを進めると、ミナコインの活性化につながると思う。
会長	担当者は、より便利になるよう常日頃考えているので、いただいたご意見はお伝えさせてもらう。
委員	色んな業界で人不足と言われており、それを補うかたちで移住者や外国人労働者が想定されるが、総合戦略の評価指標一覧の新規就農者や移住者の数が、令和３年度実績より令和９年度の目標値が下がっている。このあたりの理由は何か。
事務局	基本的には、実績値より下げるということはないが、全国的な人口減少の状況等も踏まえて、厳しくなるということで目標を担当課が設定したと思われる。

地方創生交付金事業の効果検証結果
各事業の事業効果・今後の方向性は、所管課の評価・意向のとおりとする。

議事（２）南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策及び地方創生交付金事業の効果検証について － 総合戦略施策の評価指標等の実績報告	
●前総合戦略に基づく施策及び総合戦略全体の効果検証にあたり、施策の成果等について各委員に意見聴取するため、資料４の内容を説明した。 資料４　総合戦略に記載している評価指標（基本目標、重点業績評価指標）について、目標と実績（達成状況）を一覧としてまとめた。 ●資料や説明を踏まえ、各委員から意見聴取をした。	
発言者	発言内容
委員	農業産出額について、令和３年度が２５４億円で達成率９５％となっているが、昨今の物価高騰等で額は上がると思う。現時点でどのような状況かわかるか。
事務局	国の統計資料をもとに数値を把握している。ここでは、物価高騰等を踏まえた数値なのか把握できていないため、令和６年３月公表結果をみて、来年報告させてもらえればと思う。
委員	１６～２５歳の転出者数は何名か。
事務局	令和２年度は４５５名、令和３年度は４４３名、令和４年度は４２８名となっている。
委員	３－１結婚について、人口減少が進む中、婚姻数も減ってくると思うので、設定は割合の方がよいのではないか。
事務局	ここでは婚姻数を割合に置き換えることができるかわらないが、担当課にお伝えさせてもらう。
委員	子育て支援センターは、子育て中で色んな悩みを抱えている親の憩いの場や不安解消につながる場で、かなり有効である思う。 その利用者数が達成率５４％となっており、なかなか利用されていない状況となっている。利用者のニーズ把握や利用されていない理由は分析しているのか。
事務局	主な理由はコロナによるものである。支援センターは、保育園が運営しており、同じ敷地内に支援センターを設置している園が多い。コロナ禍で、そもそも利用を控えたり、園でのクラスター等によりイベントを実施できなかったりといった状況にあった。 目標値は、平成３０年度の利用者数２１，８６４人をもとに設定したものであり、こどもの数も減っているので、それに伴う減少も考えられるが、コロナが落ち着き今後は増加すると思われる。 ただし、利用しやすいよう、利用者のニーズの把握は必要だと思うので、担当課にはお伝えさせてもらう。
委員	そうめん認証制度について、市内全事業者のうち、何割が取得されているのか。 また、そうめん単価の上昇の推移等は把握しているのか。味では、揖保乃糸に負けないと思うが、単価に差があると思う。

会長	９割程度の事業者が取得されている。 小麦粉等の原材料や人件費の高騰等もあり単価は上昇している。
委員	ふるさと納税を活用したアニメ「てっぺん」の制作は進んでいるのか。
会長	ふるさと納税の対象として募集をかけているところであり、これからだと思う。
委員	オタクの方は、いくらであろうがお金を使うので、お金を集めれるような聖地化や市民がアニメに馴染んでもらう取組等により、盛り上げていただければと思う。

議事（３）デジタル技術を活用した取組について	
●総合戦略に新しく位置付けたデジタル化の取組について、所管課から説明を行った。 ●資料や説明を踏まえ、各委員から意見聴取をした。	
発言者	発言内容
委員	高齢化率が高いので、デジタルデバイドの部分で苦労すると思われる。高齢者や障害者が使いやすいインターフェースや端末等の提供を含めて検討が必要だと思う。 技術だけが進んで、ついていけないといったことも考えられるので、バランスを取りながら進めていただければと思う。 本市でできれば、高齢化が進んでいる他自治体への展開も可能だと思われる。
DX 推進班員	自治会回覧板の実証を行っており、高齢者世帯だけの自治会もある。今後、ヒアリング等を行い、検証をすることになる。ご意見を参考に、また実証結果をもとに、実効性の高い計画にできればと思う。
委員	あと心配なのは、デジタル技術は日進月歩で進化しており、高齢者にタブレットを配った後にバージョンアップが必要など、メンテナンス面でも苦労すると思うので、そこら辺も含めて計画を立てる必要があると思う。
委員	南島原市では、今年度だけで４件の変死事案がおきている。孤独死等で自宅や路上などで亡くなっており、他市と比べて突出している。 回覧板を含めてデジタル化は必要だと思うが、アナログ的な接触機会を全てはなくさないでほしいと思う。
会長	貴重なご意見なので、今後の参考にさせていただく。 デジタル化を進めることで、今まで手が回らなかったところに手が回るよう余裕をつくることにもつながると考えている。

委員	AI にどういうことをさせたいか、明確な理由をもって取り組んでほしい。簡単に言えば、AI はただの電卓であり、電卓も打ち方を間違えると、最後の答えが誤りとなる。AI も聞くことを間違えると、全く違う回答になるので、最後の回答があっているのかという検証できる仕組みが必要と考える。 また、AI には得意・不得意があるので、特性を理解して取組を進めてほしい。
委員	マイナンバーカードについて、最近、口座紐づけの誤り等のニュースがあっているが、南島原市でも発生しているのか。
DX 推進班員	市民の方が気づいていないだけの可能性もあるが、今のところ市民から窓口に相談があったという話は聞いていない。
委員	国の事業であるが、国に任せきりではなく、南島原市ではどういった対策をするのか、検討が必要だと思う。
委員	高齢者のタブレットの利用に関しては慣れが必要だと思う。あと最初に教える方がきちんと教えてあげれば、使えるようになると思う。 また、デバイス依存させるとデバイスの更新時に、修正等が必要になってくるので、デバイス依存させないような仕組みが必要と考える。 例えば、web ブラウザであれば、数年先でもあまり変わらず、どのデバイスからでも利用できるので、検討していただければと思う。
会長	本市のデジタル化推進のために、大変貴重なご意見であったので、参考とさせていただく。

閉会